

別添 1. キーカテゴリー分析の詳細

1.1. キーカテゴリー分析の概要

インベントリ報告ガイドライン¹では、「温室効果ガスインベントリにおけるグッドプラクティスガイダンス及び不確実性管理報告書」（以下、「GPG（2000）」）を適用することとされており、同ガイダンスに示されたキーカテゴリー（key category）分析²を行う必要がある。

また、京都議定書第5条の国内制度指針においても、インベントリの作成に際し各国はGPG（2000）の7章に示された方法に沿ってキーカテゴリーを同定することが義務事項とされている。

1.2. キーカテゴリー分析結果

1.2.1. キーカテゴリー

GPG（2000）の評価方法（Tier 1 のレベルアセスメント及びトレンドアセスメント、Tier 2 のレベルアセスメント及びトレンドアセスメント）に従って「キーカテゴリー」の評価を行った。

土地利用、土地利用変化及び林業（LULUCF）分野は、LULUCF-GPG の評価方法に従い、排出源分野のみの分析にてキーカテゴリーを評価した後、LULUCF 分野も含めた全体の分析を行い「キーカテゴリー」の評価を行った。

各手法の分析結果により、表1の38の排出・吸収区分が2005年度の日本のキーカテゴリーとなった。

わが国では温室効果ガス削減対策が実施されている区分、新規に算定を行った排出・吸収区分、算定方法を変更した排出・吸収区分を質的評価によるキーカテゴリーとして取り扱ってきた。2005年度のインベントリ提出以降に多くの区分で新規排出・吸収の計上や算定方法の変更を行なったことにより、従来の基準で質的評価に該当する小規模排出区分が大量に存在するため、本年度については、上記の定量分析結果をもってキーカテゴリーを決定した。従来基準で質的評価に該当する区分については「1.2.4 質的評価」に一覧で示した。

¹ Guidelines for the preparation of national communications by Parties included in Annex I to the Convention, Part I: UNFCCC reporting guidelines on annual inventories (following incorporation of the provisions of decision 13/CP.9) (FCCC/SBSTA/2004/8)

² 2003年に承認された「土地利用、土地利用変化及び林業分野のIPCCグッドプラクティスガイダンス」において、従来の主要排出源に加えて吸収源を含めた分析の必要性が規定された。これを受けて、最新のインベントリ報告ガイドライン（FCCC/SBSTA/2004/8）では、主要排出源[key source category]からキーカテゴリー[key category]へ用語が修正された。

表 1 日本のキーカテゴリー

注) レベルとトレンドの中の数値は、それぞれのレベルアセスメントとトレンドアセスメント中の順位を表す。

	A IPCCの区分	B 温室効果 ガス	Tier.1	Tier.1	Tier.2	Tier.2	
			レベル	トレンド	レベル	トレンド	
#1	1A 燃料の燃焼(固定発生源)	固体燃料	CO ₂	#1	#2	#4	#9
#2	1A 燃料の燃焼(固定発生源)	液体燃料	CO ₂	#2	#1	#8	#11
#3	1A 燃料の燃焼(移動発生源)	b. 自動車	CO ₂	#3	#4	#6	
#4	1A 燃料の燃焼(固定発生源)	気体燃料	CO ₂	#4	#3		
#5	5A 森林	1. 転用のない森林	CO ₂	#5	#11	#7	
#6	6C 廃棄物の焼却		CO ₂	#6	#6	#3	#5
#7	2A 鉱物製品	1. セメント製造	CO ₂	#7	#9	#9	#14
#8	1A 燃料の燃焼(移動発生源)	d. 船舶	CO ₂	#8			
#9	2A 鉱物製品	3. 石灰石及びドロマイトの使用	CO ₂	#9		#15	
#10	1A 燃料の燃焼(移動発生源)	a. 航空機	CO ₂	#10	#16		
#11	5E 開発地	2. 他の土地利用から転用された開発地	CO ₂	#11	#17	#21	
#12	2A 鉱物製品	2. 生石灰製造	CO ₂	#12		#22	
#13	4A 消化管内発酵		CH ₄	#13			
#14	4C 稲作		CH ₄			#20	
#15	6A 固形廃棄物の陸上における処分		CH ₄		#14	#18	#12
#16	4B 家畜排せつ物の管理		N ₂ O			#11	
#17	1A 燃料の燃焼(固定発生源:各種炉)		N ₂ O		#20	#19	#20
#18	2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費	1. 冷蔵庫及び空調機器	HFCs		#15	#16	#10
#19	4D 農用地の土壌	1. 直接排出	N ₂ O			#5	#8
#20	2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費	7. 半導体製造	PFCs			#13	
#21	6C 廃棄物の焼却		N ₂ O			#10	#17
#22	4D 農用地の土壌	3. 間接排出	N ₂ O			#14	
#23	1A 燃料の燃焼(移動発生源)	b. 自動車	N ₂ O			#12	#16
#24	4B 家畜排せつ物の管理		CH ₄			#17	
#26	5A 森林	2. 他の土地利用から転用された森林	CO ₂		#12		#15
#27	2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費	5. 溶剤	PFCs		#8		#4
#28	5C 草地	2. 他の土地利用から転用された草地	CO ₂		#18		
#29	6B 排水の処理		N ₂ O			#24	
#30	2E HFCs・PFCs・SF6の製造	2. 製造時の漏出	SF ₆		#13	#25	#3
#31	2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費	8. 電気設備	SF ₆		#7		#2
#32	2B 化学産業	3. アジピン酸	N ₂ O		#10		#19
#33	2E HFCs・PFCs・SF6の製造	1. HCFC-22の副生物	HFCs		#5		#13
#34	5B 農地	2. 他の土地利用から転用された農地	CO ₂		#21		#18
#35	5F その他の土地	2. 他の土地利用から転用されたその他の土地	CO ₂			#1	#1
#36	1A 燃料の燃焼(移動発生源)	a. 航空機	N ₂ O			#2	#6
#37	1A 燃料の燃焼(移動発生源)	d. 船舶	N ₂ O			#23	
#38	1B 燃料からの漏出	1a i. 石炭(坑内堀)	CH ₄		#19		#7

1.2.2. レベルアセスメント

レベルアセスメントは、カテゴリー毎の排出・吸収量が全体の排出・吸収量に占める割合を計算し、割合の大きなカテゴリーからそれぞれの割合を足し上げて、Tier 1 は全体の 95%、Tier 2 は全体の 90%に達するまでのカテゴリーを「キーカテゴリー」とするものである。Tier 1 による分析では各カテゴリーの排出・吸収量を直接使い、Tier 2 による分析では各カテゴリーの排出・吸収量にカテゴリー毎の不確実性を乗じたものを分析対象とする。

分析は、初めに排出源分野のみを対象にした評価を行い、一度キーカテゴリーを決定する。次に、LULUCF 分野を含めた全体を対象にした評価を行い、そこで新たにキーと判断された LULUCF 分野のカテゴリーを追加して、全分野のキーカテゴリーを決定する。

2004 年度の排出・吸収量に対するレベルアセスメントの結果、Tier 1 レベルアセスメントでは表 2 に示す 13 の排出・吸収区分、Tier 2 レベルアセスメントでは表 3 に示す 25

の排出・吸収区分がキーカテゴリーとなった。

表 2 Tier 1 レベルアセスメントの結果

A IPCCの区分	B 温室効果 ガス	D 2005年度の 推計値 [千tCO ₂ 換算]	F レベル評価 寄与度 (%)	累積 寄与度 (%)
#1 1A 燃料の燃焼(固定発生源) 固体燃料	CO ₂	437,910.93	30.1%	30.1%
#2 1A 燃料の燃焼(固定発生源) 液体燃料	CO ₂	348,402.08	23.9%	54.0%
#3 1A 燃料の燃焼(移動発生源) b. 自動車	CO ₂	225,235.80	15.5%	69.4%
#4 1A 燃料の燃焼(固定発生源) 気体燃料	CO ₂	166,871.50	11.5%	80.9%
#5 5A 森林 1. 転用のない森林	CO ₂	85,731.28	5.9%	86.8%
#6 6C 廃棄物の焼却	CO ₂	36,167.76	2.5%	89.2%
#7 2A 鉱物製品 1. セメント製造	CO ₂	31,654.01	2.2%	91.4%
#8 1A 燃料の燃焼(移動発生源) d. 船舶	CO ₂	12,960.55	0.9%	92.3%
#9 2A 鉱物製品 3. 石灰石及びドロマイトの使用	CO ₂	11,245.07	0.8%	93.1%
#10 1A 燃料の燃焼(移動発生源) a. 航空機	CO ₂	10,798.82	0.7%	93.8%
#11 5E 開発地 2. 他の土地利用から転用された開発地	CO ₂	7,416.82	0.5%	94.3%
#12 2A 鉱物製品 2. 生石灰製造	CO ₂	7,222.70	0.5%	94.8%
#13 4A 消化管内発酵	CH ₄	7,040.14	0.5%	95.3%

表 3 Tier 2 レベルアセスメントの結果

A IPCCの区分	B 温室効果 ガス	D 2005年度の 推計値 [千tCO ₂ 換算]	I 排出・吸収源 の不確実性 (%)	K レベル評価 寄与度 Tier.2 (%)	累積 寄与度 (%)
#1 5F その他の土地 2. 他の土地利用から転用されたその他の土地	CO ₂	150.90	14486%	0.20	20.0%
#2 1A 燃料の燃焼(移動発生源) a. 航空機	N ₂ O	107.95	10000%	0.10	29.9%
#3 6C 廃棄物の焼却	CO ₂	36,167.76	29%	0.09	39.4%
#4 1A 燃料の燃焼(固定発生源) 固体燃料	CO ₂	437,910.93	2%	0.06	45.4%
#5 4D 農用地の土壌 1. 直接排出	N ₂ O	4,250.65	144%	0.06	51.0%
#6 1A 燃料の燃焼(移動発生源) b. 自動車	CO ₂	225,235.80	2%	0.05	55.8%
#7 5A 森林 1. 転用のない森林	CO ₂	85,731.28	6%	0.05	60.4%
#8 1A 燃料の燃焼(固定発生源) 液体燃料	CO ₂	348,402.08	1%	0.03	63.5%
#9 2A 鉱物製品 1. セメント製造	CO ₂	31,654.01	10%	0.03	66.5%
#10 6C 廃棄物の焼却	N ₂ O	2,966.45	85%	0.02	68.8%
#11 4B 家畜排せつ物の管理	N ₂ O	4,699.40	51%	0.02	71.0%
#12 1A 燃料の燃焼(移動発生源) b. 自動車	N ₂ O	2,933.26	71%	0.02	72.9%
#13 2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 7. 半導体製造	PFCs	3,218.81	64%	0.02	74.8%
#14 4D 農用地の土壌 3. 間接排出	N ₂ O	2,952.56	64%	0.02	76.5%
#15 2A 鉱物製品 3. 石灰石及びドロマイトの使用	CO ₂	11,245.07	17%	0.02	78.3%
#16 2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 1. 冷蔵庫及び空調機器	HFCs	4,284.94	44%	0.02	80.0%
#17 4B 家畜排せつ物の管理	CH ₄	2,514.11	65%	0.01	81.5%
#18 6A 固形廃棄物の陸上における処分	CH ₄	5,761.37	28%	0.01	82.9%
#19 1A 燃料の燃焼(固定発生源:各種炉)	N ₂ O	4,518.69	33%	0.01	84.3%
#20 4C 稲作	CH ₄	5,774.68	23%	0.01	85.5%
#21 5E 開発地 2. 他の土地利用から転用された開発地	CO ₂	7,416.82	17%	0.01	86.7%
#22 2A 鉱物製品 2. 生石灰製造	CO ₂	7,222.70	16%	0.01	87.7%
#23 1A 燃料の燃焼(移動発生源) d. 船舶	N ₂ O	106.64	1000%	0.01	88.7%
#24 6B 排水の処理	N ₂ O	1,171.72	90%	0.01	89.6%
#25 2E HFCs・PFCs・SF6の製造 2. 製造時の漏出	SF ₆	975.12	100%	0.01	90.5%

1.2.3. トレンドアセスメント

カテゴリーの排出・吸収量の変化率と全体の排出・吸収量の変化率の差を計算し、それに当該カテゴリーの排出・吸収寄与割合を乗じてトレンドアセスメントを算出し、さらにその数値の合計値に占める当該カテゴリーの割合が大きいカテゴリーから足し上げる。Tier 1 では全体の 95%、Tier 2 は全体の 90%に達するまでのカテゴリーを「キーカテゴリー」とする。Tier 1 による分析では各カテゴリーの排出・吸収量を直接使い、Tier 2 による分析では各カテゴリーの排出・吸収量にカテゴリー毎の不確実性を乗じたもの

を分析対象とする。

分析は、初めに排出源分野のみを対象にした評価を行い、一度キーカテゴリーを決定する。次に、LULUCF 分野を含めた全体を対象にした評価を行い、そこで新たにキーと判断された LULUCF 分野のカテゴリーを追加して、全分野のキーカテゴリーを決定する。

2005 年度の排出・吸収量に対する Tier 1 トレンドアセスメントによると、表 4 に示す 21 の排出・吸収区分が、Tier 2 トレンドアセスメントによると、表 5 に示す 20 の排出・吸収区分がキーカテゴリーとなった。

表 4 Tier 1 トレンドアセスメントの結果

A IPCCの区分	B 温室効果 ガス	C 基準年の 推計値 [千tCO ₂ 換算]	D 2005年度の 推計値 [千tCO ₂ 換算]	H トレンド評価 寄与度 (%)	累積 寄与度 (%)
#1 1A 燃料の燃焼(固定発生源) 液体燃料	CO ₂	435,168.99	348,402.08	27.7%	27.7%
#2 1A 燃料の燃焼(固定発生源) 固体燃料	CO ₂	308,620.23	437,910.93	25.1%	52.8%
#3 1A 燃料の燃焼(固定発生源) 気体燃料	CO ₂	104,300.83	166,871.50	12.9%	65.7%
#4 1A 燃料の燃焼(移動発生源) b. 自動車	CO ₂	189,227.88	225,235.80	5.2%	70.9%
#5 2E HFCs・PFCs・SF6の製造 1. HCFC-22の副生物	HFCs	17,023.50	487.89	4.2%	75.1%
#6 6C 廃棄物の焼却	CO ₂	21,995.80	36,167.76	2.9%	78.0%
#7 2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 8. 電気設備	SF ₆	11,001.17	695.49	2.6%	80.6%
#8 2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 5. 溶剤	PFCs	10,356.00	1,732.19	2.2%	82.8%
#9 2A 鉱物製品 1. セメント製造	CO ₂	37,966.28	31,654.01	2.1%	85.0%
#10 2B 化学産業 3. アジピン酸	N ₂ O	7,501.25	519.42	1.8%	86.7%
#11 5A 森林 1. 転用のない森林	CO ₂	75,122.23	85,731.28	1.2%	87.9%
#12 5A 森林 2. 他の土地利用から転用された森林	CO ₂	5,654.43	1,772.46	1.0%	88.9%
#13 2E HFCs・PFCs・SF6の製造 2. 製造時の漏出	SF ₆	4,708.30	975.12	1.0%	89.9%
#14 6A 固形廃棄物の陸上における処分	CH ₄	9,070.53	5,761.37	0.9%	90.8%
#15 2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 1. 冷蔵庫及び空調機器	HFCs	807.13	4,284.94	0.8%	91.6%
#16 1A 燃料の燃焼(移動発生源) a. 航空機	CO ₂	7,162.41	10,798.82	0.7%	92.4%
#17 5E 開発地 2. 他の土地利用から転用された開発地	CO ₂	9,790.56	7,416.86	0.7%	93.1%
#18 5C 草地 2. 他の土地利用から転用された草地	CO ₂	4,001.13	1,239.30	0.7%	93.8%
#19 1B 燃料からの漏出 1a i. 石炭(坑内堀)	CH ₄	2,785.23	64.57	0.7%	94.5%
#20 1A 燃料の燃焼(固定発生源:各種炉)	N ₂ O	2,332.05	4,518.69	0.5%	94.9%
#21 5B 農地 2. 他の土地利用から転用された農地	CO ₂	1,864.81	210.16	0.4%	95.4%

表 5 Tier 2 トレンドアセスメントの結果

A IPCCの区分	B 温室効果 ガス	C 基準年の 推計値 [千tCO ₂ 換算]	D 2005年度の 推計値 [千tCO ₂ 換算]	I 排出・吸収源 の不確実性 (%)	M トレンド評価 寄与度 Tier.2 (%)	累積 寄与度 (%)
#1 5F その他の土地 2. 他の土地利用から転用されたその他の土地	CO ₂	359.94	150.90	14486%	0.44	44.4%
#2 2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 8. 電気設備	SF ₆	11,001.17	695.49	39%	0.06	50.1%
#3 2E HFCs・PFCs・SF6の製造 2. 製造時の漏出	SF ₆	4,708.30	975.12	100%	0.05	55.4%
#4 2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 5. 溶剤	PFCs	10,356.00	1,732.19	40%	0.05	60.3%
#5 6C 廃棄物の焼却	CO ₂	21,995.80	36,167.76	29%	0.05	65.0%
#6 1A 燃料の燃焼(移動発生源) a. 航空機	N ₂ O	69.75	107.95	10000%	0.04	69.3%
#7 1B 燃料からの漏出 1a i. 石炭(坑内堀)	CH ₄	2,785.23	64.57	79%	0.03	72.3%
#8 4D 農用地の土壌 1. 直接排出	N ₂ O	5,047.68	4,250.65	144%	0.02	74.5%
#9 1A 燃料の燃焼(固定発生源) 固体燃料	CO ₂	308,620.23	437,910.93	2%	0.02	76.6%
#10 2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 1. 冷蔵庫及び空調機器	HFCs	807.13	4,284.94	44%	0.02	78.5%
#11 1A 燃料の燃焼(固定発生源) 液体燃料	CO ₂	435,168.99	348,402.08	1%	0.02	80.0%
#12 6A 固形廃棄物の陸上における処分	CH ₄	9,070.53	5,761.37	28%	0.01	81.5%
#13 2E HFCs・PFCs・SF6の製造 1. HCFC-22の副生物	HFCs	17,023.50	487.89	5%	0.01	82.7%
#14 2A 鉱物製品 1. セメント製造	CO ₂	37,966.28	31,654.01	10%	0.01	83.9%
#15 5A 森林 2. 他の土地利用から転用された森林	CO ₂	5,654.43	1,772.46	22%	0.01	85.1%
#16 1A 燃料の燃焼(移動発生源) b. 自動車	N ₂ O	3,901.71	2,933.26	71%	0.01	86.3%
#17 6C 廃棄物の焼却	N ₂ O	1,910.66	2,966.45	85%	0.01	87.3%
#18 5B 農地 2. 他の土地利用から転用された農地	CO ₂	1,864.81	210.16	42%	0.01	88.3%
#19 2B 化学産業 3. アジピン酸	N ₂ O	7,501.25	519.42	9%	0.01	89.2%
#20 1A 燃料の燃焼(固定発生源:各種炉)	N ₂ O	2,332.05	4,518.69	33%	0.01	90.0%

表 6 キーカテゴリー分析に用いた基礎データ

A IPCCの区分	B 温室効果ガス	C 基準年の推計値 (千tCO ₂ 換算)	D 2005年度の推計値 (千tCO ₂ 換算)	E レベルアセスメント	F レベル評価寄与度 (%)	G トrendアセスメント	H トrend評価寄与度 (%)	I 排出・吸収源の不確実性 (%)	J レベルアセスメント (不確実性考慮)	K レベル評価寄与度 Tier.2 (%)	L トrendアセスメント (不確実性考慮)	M トrend評価寄与度 Tier.2 (%)	
1A 燃料の燃焼 (固定発生源) 液体燃料	CO ₂	435,168.99	348,402.08	0.239	23.9%	0.0757	27.7%	1%	2.33	0.03	0.74	0.02	
1A 燃料の燃焼 (固定発生源) 固体燃料	CO ₂	308,620.23	437,910.93	0.301	30.1%	0.0685	25.1%	2%	4.51	0.06	1.03	0.02	
1A 燃料の燃焼 (固定発生源) 気体燃料	CO ₂	104,300.83	166,871.50	0.115	11.5%	0.0352	12.9%	0%	0.34	0.00	0.11	0.00	
1A 燃料の燃焼 (固定発生源:各種炉)	CH ₄	533.48	565.67	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	47%	0.18	0.00	0.00	0.00	
1A 燃料の燃焼 (固定発生源:各種炉)	N ₂ O	2,332.05	4,518.69	0.003	0.3%	0.0013	0.5%	33%	1.02	0.01	0.43	0.01	
1A 燃料の燃焼 (移動発生源) a. 航空機	CO ₂	7,162.41	10,798.82	0.007	0.7%	0.0020	0.7%	3%	0.19	0.00	0.05	0.00	
1A 燃料の燃焼 (移動発生源) b. 自動車	CO ₂	189,227.88	225,235.80	0.155	15.5%	0.0143	5.2%	2%	3.56	0.05	0.33	0.01	
1A 燃料の燃焼 (移動発生源) c. 鉄道	CO ₂	932.45	647.85	0.000	0.0%	0.0002	0.1%	2%	0.01	0.00	0.01	0.00	
1A 燃料の燃焼 (移動発生源) d. 船舶	CO ₂	13,730.95	12,960.55	0.009	0.9%	0.0011	0.4%	2%	0.21	0.00	0.03	0.00	
1A 燃料の燃焼 (移動発生源) a. 航空機	CH ₄	2.94	4.83	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	200%	0.01	0.00	0.00	0.00	
1A 燃料の燃焼 (移動発生源) b. 自動車	CH ₄	265.72	214.20	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	64%	0.09	0.00	0.03	0.00	
1A 燃料の燃焼 (移動発生源) c. 鉄道	CH ₄	1.18	0.91	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	11%	0.00	0.00	0.00	0.00	
1A 燃料の燃焼 (移動発生源) d. 船舶	CH ₄	26.33	25.50	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	200%	0.04	0.00	0.00	0.00	
1A 燃料の燃焼 (移動発生源) a. 航空機	N ₂ O	69.75	107.95	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	1000%	7.41	0.10	2.12	0.04	
1A 燃料の燃焼 (移動発生源) b. 自動車	N ₂ O	3,901.71	2,933.26	0.002	0.2%	0.0008	0.3%	71%	1.42	0.02	0.57	0.01	
1A 燃料の燃焼 (移動発生源) c. 鉄道	N ₂ O	121.38	83.52	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	101%	0.06	0.00	0.03	0.00	
1A 燃料の燃焼 (移動発生源) d. 船舶	N ₂ O	111.31	106.64	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	1000%	0.73	0.01	0.08	0.00	
1B 燃料からの漏出	CH ₄	2,785.23	64.57	0.000	0.0%	0.0019	0.7%	79%	0.03	0.00	1.48	0.03	
1B 燃料からの漏出	1a ii. 石炭 (露天掘り)	CH ₄	21.20	8.99	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	185%	0.01	0.00	0.02	0.00
1B 燃料からの漏出	2a. 石油	CO ₂	0.14	0.14	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	20%	0.00	0.00	0.00	0.00
1B 燃料からの漏出	2a. 石油	CH ₄	28.32	29.57	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	17%	0.00	0.00	0.00	0.00
1B 燃料からの漏出	2a. 石油	N ₂ O	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	27%	0.00	0.00	0.00	0.00
1B 燃料からの漏出	2b. 天然ガス	CO ₂	0.25	0.38	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	25%	0.00	0.00	0.00	0.00
1B 燃料からの漏出	2b. 天然ガス	CH ₄	187.94	292.94	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	21%	0.04	0.00	0.01	0.00
1B 燃料からの漏出	2c. 通気弁及びフレアリング	CO ₂	36.23	37.07	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	19%	0.00	0.00	0.00	0.00
1B 燃料からの漏出	2c. 通気弁及びフレアリング	CH ₄	14.45	13.40	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	21%	0.00	0.00	0.00	0.00
1B 燃料からの漏出	2c. 通気弁及びフレアリング	N ₂ O	0.11	0.12	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	19%	0.00	0.00	0.00	0.00
2A 鉱物製品	CO ₂	37,966.28	31,654.01	0.222	2.2%	0.0058	2.1%	10%	2.27	0.03	0.61	0.01	
2A 鉱物製品	CO ₂	7,371.02	7,222.70	0.005	0.5%	0.0004	0.2%	16%	0.78	0.01	0.07	0.00	
2A 鉱物製品	CO ₂	11,527.41	11,245.07	0.008	0.8%	0.0007	0.3%	17%	1.29	0.02	0.12	0.00	
2A 鉱物製品	CO ₂	583.63	357.23	0.000	0.0%	0.0002	0.1%	16%	0.04	0.00	0.03	0.00	
2B 化学工業	CO ₂	3,384.68	2,164.76	0.001	0.1%	0.0009	0.3%	23%	0.34	0.00	0.22	0.00	
2B 化学工業	CO ₂	1,129.29	1,029.49	0.001	0.1%	0.0001	0.0%	77%	0.55	0.01	0.09	0.00	
2B 化学工業	N ₂ O	765.70	780.52	0.001	0.1%	0.0000	0.0%	46%	0.25	0.00	0.01	0.00	
2B 化学工業	N ₂ O	7,501.25	519.42	0.000	0.0%	0.0048	1.8%	9%	0.03	0.00	0.44	0.01	
2B 化学工業	CH ₄	0.42	0.66	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	100%	0.00	0.00	0.00	0.00	
2B 化学工業	CH ₄	337.80	115.36	0.000	0.0%	0.0002	0.1%	89%	0.07	0.00	0.14	0.00	
2C 金属の生産	CO ₂	356.09	252.69	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	5%	0.01	0.00	0.00	0.00	
2C 金属の生産	CH ₄	15.47	14.18	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	163%	0.02	0.00	0.00	0.00	
2C 金属の生産	CH ₄	3.89	2.71	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	163%	0.00	0.00	0.00	0.00	
2C 金属の生産	PFCS	69.73	14.80	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	33%	0.00	0.00	0.01	0.00	
2C 金属の生産	SF ₆	119.50	913.46	0.001	0.1%	0.0005	0.2%	5%	0.03	0.00	0.03	0.00	
2E HFCs・PFCs・SF6の製造	HFCs	17,023.50	487.89	0.000	0.0%	0.0114	4.2%	5%	0.02	0.00	0.61	0.01	
2E HFCs・PFCs・SF6の製造	HFCs	419.02	322.03	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	100%	0.22	0.00	0.08	0.00	
2E HFCs・PFCs・SF6の製造	PFCs	762.85	706.72	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	100%	0.49	0.01	0.07	0.00	
2E HFCs・PFCs・SF6の製造	SF ₆	4,708.30	975.12	0.001	0.1%	0.0026	1.0%	100%	0.67	0.01	2.62	0.05	
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費	HFCs	807.13	4,284.94	0.003	0.3%	0.0022	0.8%	44%	1.28	0.02	0.96	0.02	
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費	HFCs	451.76	347.70	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	51%	0.12	0.00	0.04	0.00	
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費	HFCs	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	71%	0.00	0.00	0.00	0.00	
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費	HFCs	1,365.00	1,573.63	0.001	0.1%	0.0001	0.0%	34%	0.37	0.00	0.02	0.00	
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費	PFCs	10,356.00	1,732.19	0.001	0.1%	0.0060	2.2%	40%	0.48	0.01	2.40	0.05	
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費	HFCs	145.40	121.93	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	64%	0.05	0.00	0.01	0.00	
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費	PFCs	2,857.35	3,218.81	0.002	0.2%	0.0001	0.0%	64%	1.41	0.02	0.06	0.00	
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費	SF ₆	1,099.82	1,529.58	0.001	0.1%	0.0002	0.1%	64%	0.67	0.01	0.14	0.00	
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費	SF ₆	11,001.17	695.49	0.000	0.0%	0.0071	2.6%	39%	0.19	0.00	2.80	0.06	
3 廃棄	N ₂ O	287.07	266.41	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	5%	0.01	0.00	0.00	0.00	
4A 消化管内発酵	CH ₄	7,641.73	7,040.14	0.005	0.5%	0.0007	0.3%	12%	0.57	0.01	0.09	0.00	
4B 家畜排せつ物の管理	CH ₄	3,120.57	2,514.11	0.002	0.2%	0.0005	0.2%	65%	1.12	0.01	0.35	0.01	
4B 家畜排せつ物の管理	N ₂ O	5,543.05	4,699.40	0.003	0.3%	0.0008	0.3%	51%	1.65	0.02	0.41	0.01	
4C 稲作	CH ₄	7,002.78	5,774.68	0.004	0.4%	0.0011	0.4%	23%	0.90	0.01	0.25	0.01	
4D 農用地の土壌	N ₂ O	5,047.68	4,250.65	0.003	0.3%	0.0007	0.3%	144%	4.20	0.06	1.07	0.02	
4D 農用地の土壌	N ₂ O	3,628.35	2,952.56	0.002	0.2%	0.0006	0.2%	64%	1.29	0.02	0.38	0.01	
4F 野外で農作物の残留物を焼くこと	CH ₄	129.77	101.85	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	143%	0.10	0.00	0.03	0.00	
4F 野外で農作物の残留物を焼くこと	N ₂ O	103.92	72.69	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	180%	0.09	0.00	0.04	0.00	
5A 森林	CO ₂	75,122.23	85,731.28	0.059	5.9%	0.0033	1.2%	6%	3.46	0.05	0.20	0.00	
5A 森林	CO ₂	5,654.43	1,772.46	0.001	0.1%	0.0027	1.0%	22%	0.26	0.00	0.59	0.01	
5A 森林	CH ₄	8.31	9.85	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	53%	0.00	0.00	0.00	0.00	
5A 森林	N ₂ O	0.84	1.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	39%	0.00	0.00	0.00	0.00	
5B 農地	CO ₂	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	
5B 農地	CO ₂	1,864.81	210.16	0.000	0.0%	0.0011	0.4%	42%	0.06	0.00	0.48	0.01	
5B 農地	CH ₄	21.72	1.37	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	81%	0.00	0.00	0.01	0.00	
5B 農地	N ₂ O	95.59	16.39	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	108%	0.01	0.00	0.06	0.00	
5C 草地	CO ₂	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	
5C 草地	CO ₂	4,001.13	1,239.30	0.001	0.1%	0.0020	0.7%	21%	0.18	0.00	0.42	0.01	
5C 草地	CH ₄	3.06	0.21	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	81%	0.00	0.00	0.00	0.00	
5C 草地	N ₂ O	0.31	0.02	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	108%	0.00	0.00	0.00	0.00	
5D 湿地	CO ₂	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	
5D 湿地	CO ₂	295.24	153.04	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	31%	0.03	0.00	0.03	0.00	
5D 湿地	CH ₄	1.32	1.04	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	83%	0.00	0.00	0.00	0.00	
5D 湿地	N ₂ O	0.13	0.11	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	110%					

質的評価

温室効果ガス削減対策が実施されている区分、排出・吸収量が急激に変化している区分、Tier 1 によるキーカテゴリー分析しか行っていない場合に不確実性の高い区分、排出・吸収量が過大または過小と考えられる区分を「キーカテゴリー」とするものである。

わが国では、温室効果ガス削減対策が実施されている区分、新規に算定を行った排出・吸収区分、算定方法を変更した排出・吸収区分を質的評価によるキーカテゴリーとしている。

2006年提出インベントリについては、新規に排出・吸収量を算定した区分や算定方法の変更を行なった区分が非常に多い(次頁に一覧で示した)。これらの区分をそのまま質的評価によりキーカテゴリーとすると、相当数のカテゴリーがキーカテゴリーに該当してしまうことになるため、2006年提出インベントリではTier.1、Tier.2によるレベルアセスメント、トレンドアセスメントによる定量評価結果のみでキーカテゴリーの決定を行なった。

- 温室効果ガス削減対策が実施されている区分
 - 2.B.3. アジピン酸の製造に伴う排出：N₂O
- 新規に算定を行った区分
 - 5.A 森林（枯死有機物、土壌）：CO₂
 - 5.B.2.1. 森林から転用された農地（枯死有機物）：CO₂
 - 5.C.2.1. 森林から転用された草地（枯死有機物）：CO₂
 - 5.D.2.1. 森林から転用された湿地（枯死有機物）：CO₂
 - 5.E.2.1. 森林から転用された開発地（枯死有機物）：CO₂
 - 5.F.2.1. 森林から転用されたその他の土地（枯死有機物）：CO₂
- 算定方法を変更した区分
 - 1.A.3.b 移動排出源、自動車からの排出（普通貨物車、特殊自動車）：N₂O
 - 4.D.1 農用地の土壌（直接排出）（合成肥料）：N₂O
 - 5.A. 5.B.2~5.F.2：森林分野におけるデータ区分の変更
 - 5.A. 5.B.2~5.F.2：森林における土壌炭素ストック量の変更